

文化祭はどうするか。

夏祭 & 文化祭

文化祭は夏祭りの二番煎じのようであり、役員や班長の労力の負担も大きいという事で、今年から中止にしたが、何も無しでは忍びない事もあったので、会場館内には文化祭行事を少し残しました。その結果は皆さまご承知の通りになりました。マジックショーや作品展もありました。

声楽のソプラノ最高でしたね堪能しましたね。



今年は第42回目の夏祭りになる

森輝秋自治会長の挨拶、富田成輝可児市長、酒井正司可児市議会議員の祝辞があって、横井敬二夏祭実行委員長の挨拶「催事や事業をやろうとすると多くの人手を必要とするが、我が鳩吹台は長い伝統に支えられ、会長を始めとする役員や班長さんたちの一致協力を頂いたので、このように盛大に開催する事が出来ました。真に有難う御座いました」と言う趣旨の挨拶があった。



祭りのために、活力漲るソーラン踊・祭り太鼓・淑やかな盆踊・子供も大人も3日も4日も稽古♪稽古♪稽古♪



編集者のひとりごと

昭和49年に自治会が発足し翌年の50年には夏祭りが実行された。何も無い処から始まった。櫓は地元の青年団から借りた。帷子小学校の木造校舎の床下に潜って丸太を取り出し、リヤカーで運んで櫓を組み立てた。大変な作業だった。当時の世帯数は200戸ほど主の平均年齢は30代半ばであったとか。

(広報委員 山崎啓)